

# 泡沫世界 モノクロマティカ

神紀文明時代の神々の戦いで生まれた  
ラクシアの外側に無数にある「あぶく」の世界  
閉じ込められた神々によってラクシアとは異なる世界になっている

しゃちほこ丸 / しゃちほこの尾びれ亭

# 泡沫世界 モノクロマティカ

泡沫世界の1つ

5柱の神に色彩が捧げられたことで、色彩は神の領域となった世界

基本的に白黒で、亡くなった人などのみに色彩がある

色彩を失ったことで、魔法が使えなくなっている

しゃちほこ丸 / しゃちほこの尾びれ亭

# “死還り”

モノクロマティカの神によって復活させられた者たち  
強い未練を持つ者だけが“死還り”となる  
体の一部に色彩を持ち、魔法が使える  
さらには「ギフト」や「恩寵」も使用できる  
魔物が“死還り”になることもある

# 狩人

“死還り”が後述の「紅血機関」で与えられる役割  
魔物の“死還り”やその成れの果てである「異形」を狩る  
ラクシアにおける「冒険者」に当たる言葉

しゃちほこ丸 / しゃちほこの尾びれ亭

# PC の立場

PC は基本的に「ラクシアからモノクロマティカへ迷い込んだ」人族  
迷い込んだ時点で“死還り”となっている

ラクシアへの帰還が目的となる → より冒険の目的がわかりやすい

ラクシアへの帰還のため、遺跡を探ったり、モノクロマティカの神を信奉する集団を  
介してモノクロマティカの神について調査をしたりしていく

冒険に出る理由は共通だが、「未練」の設定や「ギフト」の取得などで  
これまで以上に自分らしいキャラクタービルドも可能

しゃちほこ丸 / しゃちほこの尾びれ亭

# 紅血機関

PC を「狩人」として雇い、ラクシアへの帰還をサポートしてくれる  
ラクシアの「冒険者ギルド」にあたる機関  
元々「紅血回路」の研究 / 開発 / 運用をする機関  
この「紅血回路」の動力源を得るため、“死還り”を「狩人」として  
雇い、魔物の“死還り”やその成れの果てである「異形」を狩る

# 紅血回路

一般人は魔法が使えないモノクロマティカで、100 年ほど前に  
やっと生み出されたテクノロジー  
鉄道や城塞都市など、ちょっとスチームパンク的な感じもある (?)

しゃちほこ丸 / しゃちほこの尾びれ亭

# 契約印・ギフト・マス戦闘

“死還り”はさまざまなタイミングで「契約印」を獲得する

この「契約印」を用いて「ギフト」を習得したり、強化したりできる

「ギフト」は“死還り”が使用できる強力な能力

いくつものギフトのデータが収録されていて、コンボなども考えられる

よりキャラクタービルドと戦闘が楽しくなる要素

モノクロマティカでの戦闘は、マス戦闘という、基本戦闘の拡張ルールを用いる

ギフトとマス戦闘でボードゲームのような戦闘体験をできる

しゃちほこ丸 / しゃちほこの尾びれ亭

# “死還り”の最期

“死還り”は未練を達成するか、未練を失わない限り、死ぬことはない  
生死判定に失敗しても、即座に復活し、契約印が増える

しかし、契約印が増えすぎると、神の力に耐えられなくなる

周囲に色彩をばら撒く“彩濫”を起こし、自らも「異形」となってしまう  
こうなるとキャラクターロストとなる

また、“彩濫”は周囲の土地を出鱈目な色の溢れる“穢土”に変えてしまう  
“穢土”には異形が湧くため、周辺まで人が住めない土地となってしまう

しゃちほこ丸 / しゃちほこの尾びれ亭

# まとめ

PC はラクシアから何らかの理由でモノクロマティカへ来て“死還り”になってしまう  
ラクシアへ帰還するため、「狩人」として紅血機関に所属しサポートを受けながら  
冒険を行う

“死還り”は契約印を獲得し、これを用いてギフトを習得できる

マス戦闘でギフトを活かして戦うことで、ラクシアとは異なる戦闘体験になる

“死還り”は死ぬことはなく、死んでも即座に復活する

しかし契約印が増えすぎると神の力に耐えられず“彩濫”を起こしてロストとなる

しゃちほこ丸 / しゃちほこの尾びれ亭

# とにかくイラストが素敵！

白黒の中にピンポイントで色彩が入る世界「モノクロマティカ」

サプリメントを彩るイラストがとにかく素敵です！

水溜鳥先生によるカバーイラストは恐ろしくも神秘的で

津田沼人先生とモレシャン先生による口絵イラストはラクシアと異なる世界での

冒険をイメージさせていただきます

zunta 先生・かんくろう先生・しろー大野先生・とよた瑣織先生

西野幸治先生・ペペロン先生・ろび〜な先生による本文イラストも超豪華！

しゃちほこ丸 / しゃちほこの尾びれ亭